

## 『発生工学』 第14週アンケートの結果と、後半の授業の改善目標

1. この授業で、教員は、受講生の学問的関心や知的好奇心を高めるように授業を進めたと思いますか？

[詳細](#)

22

応答



評価の平均 4.73

2. この授業で、教員は、受講生の理解度や能力、興味や関心を確認しながら授業を行ったと思いますか？

[詳細](#)

22

応答



評価の平均 4.59

3. この授業で、教員は、受講生にわかりやすい授業をするように努めたと思いますか？

[詳細](#)

22

応答



評価の平均 4.86

4. この授業で、教員は、受講生の意欲・自主的な学びを引き出すための工夫をしたと思いますか？

[詳細](#)

22

応答



評価の平均 4.68

5. この授業で、授業中に行っているディスカッションは、勉強に役立ちましたか？

[詳細](#)

22

応答



評価の平均 4.68

6. この授業で、毎回課される宿題は、勉強に役立ちましたか？

[詳細](#)

22

応答



評価の平均 5.00

7. あなたは、この授業の予習や復習を1週間に平均何時間くらいしましたか？

[詳細](#)

● 1時間未満	0
● 1~3時間	6
● 3時間以上	16



8. この授業を通じて、あなた自身の「考える力」は向上したと感じていますか？

詳細

22

応答



評価の平均 4.77

9. 第5週アンケートを受けて、自由にディスカッションができるフォーラムを作りましたが、利用状況はイマイチだったように思います。どうしたら利用が増えると思いますか？ いいアイデアがあれば書いてください。

無理に利用者を増やさなくてもよいのではないかなと個人的に思う。どうしても時間がなかったり性格的に知らない人と話すのが苦手だとか気まずいなど感じる人がいると思うので、活発に動かしよければ、ただそこにあって自由に書き込めて話せる的な立ち位置で良いと思った。

発言する人が少ないため周りの様子をうかがってしまい、意見がある人も書き込みにくくなっているように思えます。ディスカッションが当たり前に行われていることを示せば、周りの様子をうかがっていて意見を言えない人が発言してディスカッションが盛んに行われるようになるのではないかと思います。そのため、以前に行われた話し合いが盛り上がったものでその授業と範囲が被っているものを参考として2~3回程度、写真等で見せることで少し改善されるのではないかと考えました。

授業での質問をする場所とフォーラムでのディスカッションをもう少しわかりやすく差別化すればよいかなと思います。

どんな議論が行われているか、どんな質問が投稿されているのかというのが、フォーラムを開かないと分からなかったので、「一般」のところにアナウンスみたいなものがあれば良いかなと思います。実際、1週間以上前に質問されたものを初めて見ることもあったので。

私は来年度以降も開設することを提案します。教科書に記載されている内容の中にも、ディスカッションでは触れられていないこともあるので、フォーラムでしかじっくりと話せないような興味深い内容を掘り出すにはフォーラムしかないかなと思ったからです。ただ、今回は投げかけた質問がどれも深い内容だったので、来年度以降はもっと簡単なものでも気軽に質問できるようにアナウンスしておくといいかもしれません。今年度はフォーラムを途中で開設したこともあって、どう使えばいいのか使い勝手がよくわからないという人が多かったのではないかと思います。もしくは、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業となり、課題が今までよりも多く出るようになって、そもそも読む暇すらないという可能性も考えられるかと思いました。そこで、来年度からは初回からフォーラムを開設しておいて、評価にプラスαで点数が入るように初回の授業で説明しておいたら、フォーラムに気軽に書き込む人も増えるのではないかと思います。特に、点数につながるとモチベーションが上がる人が一定数はいると思うので、そこはあえて強調してもいいかもしれないと思いました。

フォーラムに直接質問を書き込むと投稿者が「〇〇の××番の問題で～」と書き込むことになるので問題ごとにフォーラム内で項目を作ればいいのかと思いました。また、授業のディスカッション自体もチャットを使うのではなくフォーラムをメインに使うことができれば授業の流れのまま質問できたりするので利用者が増えそうな感じがありそうだと思います。

10. 第 5 週アンケートを受けて、授業後半の講義部分を 5～10 分ほど増やしましたが、増やした方がよかったですでしょうか？ 増やす必要がなかったでしょうか？

詳細

● もっと増やした方がよかった	1
● このくらいいい	15
● 増やさない方がよかった	6



11. 第 5 週アンケートを受けて、宿題の問題文を少し親切にしたつもりですが、わかりやすくなったでしょうか？

詳細

22  
応答



12. 第 5 週アンケートを受けて、みんなが提出した課題から気づいた点や追加の説明を、次の回の授業の冒頭で話しましたが、役に立ちましたか？

詳細

22  
応答



13. あなたは、この授業の到達目標を（一つでも二つでも）達成できたと思いますか？

詳細

22  
応答



14. 総合的に考えて、現時点でこの授業に満足しましたか？

詳細

22  
応答



15. 来年度のこの授業をよくするための意見を書いてください。オンラインを想定してもいいですし、この授業を対面で行うとしたときの注意点などをアドバイスしてくれるのもうれしいです。

<p>テキストスライドの解説は音声と教科書で予習すれば十分だと思うので、もう少しディスカッションに時間を割いてもいいと思いました。</p>
<p>個人的にですがオンラインより対面形式のほうがやりやすいかなと思いました。発現するとき(あまりできませんでしたが…)心がバクバクでした。</p>
<p>事前に自分で学習し、考え出した意見を発表するという授業の形式上、理解力のある学生とそうでない学生の差が顕著に見えてしまうのがメリットであり、デメリットでもあると感じました。授業が後半になっていくにつれて自主的に発表する学生が固定化されていたように思えたので、もっと早い段階から藤原先生が発表する人を当てていくスタイルに切り替えてもよかったのではないかと思います。授業内容や進行速度については非常に満足のいくものでとても勉強になりました。</p>
<p>オンラインで行うならこのままでよいと思う。対面で行うなら今回のように音声入りのパワーポイントファイルを先にアップロードしてくれた方が予習はやりやすくなるし、ディスカッションにも集中できると思う。</p>
<p>対面でのこの授業を受けていないので比較はできませんが、オンラインという性質上非常に発言しやすかったように感じました。また、事前に授業で答えようと考えている問題はより考えるようになるので、課題の内容を学生に答えさせる仕組みはとても有意義なものだったと思います。</p>
<p>今期の授業の中で、一番オンラインを活用できている授業であると感じました。他の授業で、なかなかここまでディスカッションを行える授業はなかったので、今後もオンライン実施でも問題ないと思いました。ただ、友達とも顔を合わすことでディスカッションをしたり、宿題について相談することも多いと思うのでその点はオンラインでは補えない点かなと思います。しかし、その分先生に質問したりもできたので、自分の中ではとても満足度の高い授業であったと思います。意見ではなく、感想ですみません。</p>
<p>教員、学生ともになれないオンライン授業であり、ディスカッションできるかが不安だったが寧ろオンラインの方がディスカッションがしやすかったのではないかと感じた。というのも、対面だと少し躊躇して発言をしない人が多いのに対して、オンラインだと声だけなので躊躇が少し和らいで発言できたのではないかと思った。また録画ができるため講義の復習や出席できなかった場合に見直せるので勉強がしやすかった。また対面授業になっても、音声付きのPowerPointを配布すると予習や復習がしやすく、課題のディスカッションに時間が使えると思った。</p>

音声がついているスライドを用いての予習はオンラインだからこその方法ではあったが、対面の授業だとメモしている間に聞き逃してしまうことがあるので、オンラインじゃなくてもこの方法を取り入れてもいいのかなと感じた。

とくにないです！

・スライドの音声のアイコンの位置がスライド操作のパネルと被ってしまうと、音声を再生したいのに、スライドが移動してしまうことがあったので、アイコンの位置を左下以外の部分にしてほしい。

パワーポイントの音声で説明があったことは良かったと思います。

対面で行うには、時間も少なる可能性があり、また、時間を置いてから聞き直すということが出来ないと考えられるのでオンラインで今回のように行うのが良いではないかと思いました。

今学期はオンライン授業でのディスカッションとなったので、パワーポイントの内容を事前に予習してくる習慣がついてディスカッションに割く時間が増えてよかったですと思います。特に、ディスカッション後に課題を作成する際にレコーディングされた動画をTeamsで見返しなが、自分の考えをまとめることができたのがよかったですと思います。今年度の長所を生かして、もしも来年度が対面授業である場合は、パワーポイントファイルに音声をつけたものを今年度と同様に配布しておく、必ず予習してくるのではないかなと思います。また、ディスカッションの内容をまとめる際にディスカッションの内容をゆっくり振り返ることができるように、対面授業でも動画を撮影しておくのも、受講生にとってはありがたいのではないかなと思います。

共感したら何かしらのアクションをとる(teamsを用いるのならスタンプ等を送る)ようにしたら、話を聞いていないということが少なく、スムーズに進み、ディスカッションの時間が増えるのではないかと思いました。

オンライン形式の方が私は質問しやすかったのでオンラインの方がよいと考えています。オンラインでの想定で来年度以降のことを考えると前後の時間に講義が対面形式であった場合に他の講義に出れない可能性があるので発生工学の教室自体は必要かと思います。そこに人が集まるなら対面でもいい気はしますが前後の時間に講義がなければ今回のように家からでも参加ができるという自由性の高さは来年度以降はメリットだと受け取ることができるので。

課題の量が少し多かったような気がします。一つ一つの問題がつながっているため多くなりがちになるのは分かりますが、もう少し課題を少なくした方が一つの問題に対するディスカッションを深掘りすることができると思います。

## 【 総括 】

- \* みんなのコメントを来年度の講義に活かしたいと思います。
- \* 来年度、対面授業になったとしても、音声入りの PowerPoint ファイルで予習してもらってディスカッション…というスタイルは続けたいと思います。
- \* 比較的早い段階から、指名して答えてもらう機会も増やしたいと思います。ただ、発言自体に加点をするので、やはり積極的に参加したことを評価することは続けたいと思います。人前で発言するのが苦手な人も、一生苦手なままでいるわけには行きません。頑張って参加して、それによって苦手意識を克服しましょうよ。
- \* 音声操作パネルとスライド操作パネルが重なる問題には気づいていませんでした。2 学期以降の講義資料では気をつけます。
- \* 講義とディスカッションの比率,